

【給食協会賞】すばらしい給食ありがとう

作野小学校 蜂須賀 大

ぼくのお母さんは働いているので、夏休みや冬休みのお昼ご飯は朝作ってくれた弁当を食べています。お母さんはよく「明日のおかずは何にしよう。早く夏休み終わらないかな。給食は本当にありがたいよ。」と言っています。

ぼくはお母さんがお弁当を作るのが大変だから給食がありがたいと思うのかと聞いたら、「もちろん、それもあるよ。」

と言つたあとに、給食はすばらしいんだよと教えてくれたので、ぼくも給食のどんなところがすばらしいのか考えました。まず思いつくのが栄養バランスが優れていることです。給食は栄養士の先生がぼく達の成長に大切な肉や魚、野菜などがしつかりとれるようと考えて工夫されています。次に、給食当番のみんなで協力して準備をして、みんなで一緒に楽しく食べられることです。コロナの時は静かに食べないとダメだったけど、今は机を合わせて話しながら食べるのよりおいしく感じます。

そして、何よりすばらしいのはおいしいことです。どれもおいしいけれど、ぼくの一番のお気に入りビンバです。メニュー表にビンバが書いてあるとその日がすごく待ち遠しいです。家で出ないおかずもあるし、行事の時のデザートも楽しみです。「がおりミカンゼリー」や「へきなん美人」を使つ

たおかげもあってこれが地産地消なんだな、と学ぶこともできます。あと、安城市は給食費が無料だと納めている税金が使われていると聞いて、社会で学んだ納税の義務で払った税金でぼく達の生活が助けられているのはすごい仕組みだと思いました。作野小学校の給食は、給食センターで作って運ばれています。前にテレビで給食センターの仕事を見たことがあるけど、調理員さん達が大きななべを混ぜたり野菜を切ったりしていました。ロボットのような機械もたくさんありました。いろんな小学校の中学校の給食を作るのはすごく大変そうでした。ぼく達が毎日食べている給食はたくさんの人達の努力や、生き物の命で作られていることを忘れないように感謝しながら、一口一口大切に残さず食べようと思いました。

夏休み明けの「スタートダッシュメニュー」も今から楽しみです。